

これからの在宅医療と介護

— 親の介護、はじめました。—

突然ですが、あなたは親と同居していますか？近年、高齢者のみで生活している世帯が増加しています。そして病気になったり、介護が必要となった時、これからだれが支えていくのかと、問題に直面します。突然病院へ入院したケースでは、思ったより早く退院を告げられ、ご家族が「おばあちゃんを呼び寄せて自宅で介護なんて無理、まして看取りなんて…」と、戸惑いや不安で途方に暮れる場合も少なくありません。まして入院前よりも退院後の方が介護度や、医療依存度が高くなっている場合はなおさらです。以前利用していた施設にも戻れない場合だってあります。そこで自宅にいながら診療を受けられる、在宅診療が今、新たな脚光を浴びています。

医療と介護、どちらも必要な高齢者を地域で支えていくには、在宅医に加え、看護師・薬剤師・リハビリ関係職種・そして介護側からケアマネジャーや介護士等の連携、つまり多職種によるケアシステムの構築が必要不可欠となります。

在宅医療の実例の事例を通し、医療・介護に携わる多職種がどう連携し、どの様な取り組みをしていけばいいのか、その在り方や方向性を共に考えようと、この様な研修会を企画しました。この機会を通じてこれからの在宅医療と介護について学んでみませんか？

2017年11月25日(土) 14:00～15:40
(受付 13:30～)

八尾市文化会館 プリズムホール 研修室
(〒581-0803 八尾市光町2-40)



【講師プロフィール】

1989年 大阪大学大学院医学研究科博士課程終了
1992年 マサチューセッツ州立大学メディカルセンター
ターアシスタントプロフェッサー
2001年 大阪大学医学部耳鼻咽喉科准教授
2008年 仙台往診クリニックで研修後、在宅医療専門のおおさか往診クリニックを開設
2009年 日本在宅医学会 理事
2010年 大阪大学医学部臨床教授

講演：入場無料

「人生の最終段階における
医療・介護の役割」

講師：田村 学 先生

(医療法人学縁会 おおさか往診クリニック 理事長)

※会終了後、情報交換会の場をご用意しております

(場所：プリズムホール1F カフェプリズム 会費：500円)

主催：やお多職種連携の会

助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

第3回 多職種連携研修会 参加申し込み

医療機関・事業所名	
連絡先	
TEL:	FAX:
氏名:	職種:
氏名:	職種:
氏名:	職種:
氏名:	職種:
氏名:	職種:
研修会後の交流会に 参加する ・ 参加しない	

申込締め切り 2017年11月20日(月)

FAX : 06-7635-7180

お問合せ先: しろばと在宅医療介護情報センター
TEL : 072-924-5070